

# 彙 報

## 研究活動等 (2009年1月～2009年12月)

### 総合政策学科

#### 小沢典夫

##### 1. 専門分野の報告、研究資料

- (1) 「新たな行政改革大綱への提言書」(平成21年9月、甲府市行政改革を考える市民委員会)
- (2) 「北杜市次世代エネルギーパーク構想」(平成22年2月、北杜市次世代エネルギーパーク・ビジョン策定委員会)

##### 2. 地域貢献活動

- (1) 甲府市地球温暖化対策地域協議会会長(07年4月～)
- (2) 甲府市行政改革を考える市民委員会会長(08年11月～)
- (3) 山梨県総合計画審議会委員(08年10月～)
- (4) 山梨県環境と森づくりを考える税制懇話会副委員長(09年6月～)
- (5) 北杜市次世代エネルギーパーク・ビジョン策定委員会委員長(09年7月～)
- (6) 講演
  - ① 平成21年度政治大学講座「守るべきは将来世代、見えない人々」(平成21年11月、山梨県選挙管理委員会主催)
  - ② 山梨県自然保護大会「ナチュラルリストのための地球温暖化」(平成21年7月、山梨県主催)

#### 黒羽雅子

##### 1. 論文

単著「アメリカの住宅金融危機と大恐慌の記憶—サブプライムローン問題への史的接近」『山梨国際研究』第4号、2009年、pp.15-30

##### 2. その他

- ① 報告書

共著「山梨県産業金融史」地域研究交流センター共同研究報告書、2009年3月

##### ② 研究報告

単著「山梨県金融史と甲州財閥について」地方金融史研究会、2009年6月26日

##### ③ 講演

単独「日本の企業家史 戦後編 企業家活動の「古典」に学ぶ 第8回 流通革命の進展②:鈴木敏文(セブン-イレブン・ジャパン)」(法政大学イノベーション・マネジメント研究センター公開講座 法政大学エクステンション・カレッジ特別セミナー、2009年1月24日)

##### ④ 社会活動

2008-9年度 山梨県入札審査委員会委員(委員長代理)(2009年11月まで)

#### 熊谷隆一

##### 1. 学会報告

- (1) 学会ポスターセッション(共同)

「四菱まちづくり総合研究室—甲府市中心街で学生が主体的に運営する『まちなか研究室』—3年目の新たな挑戦」

第26回全国自治体政策研究交流会議(8月20日、福井県県民ホール)、第23回自治体学会(8月21日、福井県県民ホール)

##### 2. 報告書(編著)

- (1) 「よつびし総研パンフレット2008-2009」(山梨県立大学地域研究交流センター・地域研究プロジェクト、3月20日発行)

##### 3. 講演(単独)

- (1) 全国特例市市長会財源確保推進部会・講演会、テーマ「深化する地方財政危機と自治体行財政の課題」(10月13日、甲府市役所本庁舎4階北会議室)

#### 4. その他

- (1) 社会的活動（アドバイザー）  
よつびし総研主催「ガチンコジウムⅢ 市民主導のまちづくりにおける学生の役割」アドバイザー（2月22日、桜座）
- (2) 社会的活動（アドバイザー）  
「四菱まちづくり総合研究室」教員顧問団幹事（2007年4月14日～、継続）  
甲府商工会議所とよつびし総研支援協定（2007年4月1日～、継続）
- (3) 社会的活動（協議会委員）  
山梨県甲州市「甲州市交流まちづくり協議会委員」（2008年9月～4月）
- (4) 社会的活動（実行委員）  
甲府商工会議所「やまなし映画祭実行委員」（5月～12月）
- (5) 社会的活動（コメント）  
「国の補助金『不適正処理』 県調査で新たに480万円」について（朝日新聞朝刊、11月12日付）
- (6) 社会的活動（有識者提言）  
山梨県甲州市「甲州市まちづくり交付金事業・事後評価」（12月15日）
- (7) 社会的活動（学会理事）  
富士学会理事（4月1日～）

#### 澁谷 彰久

1. 著書  
(1) 単著（2009年4月）「ドイツ特別口座の法理とわが国の判例理論」  
『ドイツ法の継受と現代日本法 ―ゲルハルド・リース教授退官記念論文集―』（日本評論社）
- (2) 単著（2009年10月）『預金口座と信託法理』（日本評論社）
2. 研究助成授与・その他  
(1) 共同（2009年1月）三菱UFJ信託奨学財団より研究助成金授与。  
テーマ：「パーソナル・トラストに関する研究」
- (2) 単独（2009年3月）甘粕記念信託研究助

成基金より研究助成金授与。

テーマ：「わが国における『制度内擬制信託』概念の研究」

- (3) 単独（2009年12月）全国銀行協会研究財団助成金授与。  
テーマ：「金融機関における高齢者取引の法的課題 ―成年後見・任意後見制度と金融取引の実証的考察―」
- (4) 単独（2009年11～12月）公開講座「金融取引における法的視点」講演。  
本学地域研究交流センター主催社会人・大学生のためのキャリア・アップ講座「社会人ための企業取引最前線」コーディネータを担当。

#### 堤 マサエ

1. 著書  
(1) 『日本農村家族の持続と変動―基礎文化を探る社会学的研究―』単著、（平成21(2009)年1月）、学文社、523頁
2. 報告書  
(1) 「女性農業者の育児・経営参画の総合支援」共著（平成21(2009)年3月）、社団法人全国農業改良普及支援協会（平成20年度女性農業者の農業経営と育児等の両立支援に関する調査・分析事業報告書）
3. 講演他  
(1) 基調講演「地域に根ざした まちづくり」  
甲斐市男女共同参画推進フォーラム  
2月21日
- (2) パワフルウーマンセミナー（平成14年度から平成21年度）  
コーディネーター担当：全6講座  
山梨県農業技術課

#### 波木井 昇

1. 研究ノート  
(1) 単著（2009年3月）「地域企業の海外子会社と地域経済」『山梨国際研究 山梨県立大学国際政策学部紀要』第4号、山梨県立大学国際政策学部、pp.87-95
2. 報告

- (1) 共著 (2009年2月)「過疎山間地域における高齢者支援ネットワークの現状と課題－A町高齢者支援組織交流会の分析から－」『山梨県立大学看護学部紀要』第11巻、山梨県立大学看護学部

### 3. 報告書

- (1) 共著 (2009年3月)「多文化共生～遠隔日本語教育、外国籍住民実態調査、多言語放送～」『山梨県立大学地域研究交流センター2008年度研究報告書』山梨県立大学地域研究交流センター

### 4. 研究会講演

- (1) 単独 (2009年12月)「インドシナ半島東西回廊とベトナム等周辺国経済について」アジアフォーラム21研究会、主催：(財)山梨総合研究所

### 5. その他(社会的活動)

- (1) コーディネーター「山梨発 水と緑を考える大学・地域・産業連携国際シンポジウム」第3分科会「地域資源と地域戦略」(2009年9月12日、山梨県立大学池田キャンパス)、主催：同シンポジウム実行委員会
- (2) コーディネーター「アジアフォーラム21研究会」(7回開催：1月、2月、4月、5月、6月、10月、12月)、主催：(財)山梨総合研究所
- (3) 山梨県経済財政会議委員 (2009年5月～)
- (4) 山梨県市町村合併推進審議会委員(～2009年9月)
- (5) 山梨県工業技術センター運営協議会委員 (2009年6月～)
- (6) (財)山梨県国際交流協会評議員

### 帆足俊彦

#### 1. 著書

- (1) 共著『産業と人間』(P.463～P.483)2009年4月  
拓殖大学学務部学務課発行2008年度版
- (2) 単著『プレステップ簿記』2009年12月  
(株)弘文堂 ISBN# 978-4-335-00076-8

#### 2. 地域貢献・その他

#### 講座開講

- (1) 単独「簿記入門集中講座(3回)」2009年6月～7月  
山梨県立大学地域交流センター主催「社会人・大学生のためのキャリア・アップ講座」として実施

#### 検定試験委員

- (1) 全国経理教育協会主催「簿記能力検定試験」山梨県立大学にて実施  
第158回 平成21年2月15日  
第159回 平成21年7月12日  
第160回 平成21年11月22日

### 安達義通

#### 1. 著書

- 共著(2009年11月)『中国地域まるごと情報辞典』(中国地域経済白書)2009年版、社団法人中国地方総合研究センター

#### 2. 論文

- 単著(報告)(2009年6月)「鳥取県の工業構造に関する分析」IATSS Review Vol.34, No.1 p51～57

#### 3. 報告書

- 共著(2009年3月)「様々な課題を抱える過疎地域に暮らす人々の生活を守るために期待されるNPOの活動について」(鳥取県知の財産活用推進事業)

#### 4. その他(雑文)

- 単著(2009年2月)「産業集積論と鳥取県の産業構造」(日本海新聞)

#### 5. 講演他

- 講演(2009年11月)「地域資源を活かした地域産業の活性化について」(「竹こともの ワークショップ in みのぶ」(日本竹炭竹酢液生産者協議会))

#### 6. その他(社会活動)

- 委員会(世話人会)(2009年6月～)産学自連携「やまなし水の魅力創出研究会議」

### 大西康雄

#### 1. 論文

(単著)「社会ネットワークと社会的認知マップ共有」、『山梨国際研究』第4号、2009年3月 pp.31-38、山梨県立大学国際政策学部

## 2. 書評

(単著)「書評『再帰的近代の政治社会学ー吉野川可動堰問題と民主主義の実験ー』」、『社会学論考』第30号、2009年10月、pp.93-98、首都大学東京・都立大学社会学研究会

## 二宮浩輔

### 1. 論文

(1) 『遠賀川の環境改善に対する流域住民の評価ーコンジョイント分析を使った表明選好調査にもとづく考察ー』、「地域学研究」第38巻第4号、2009年3月、pp.1105-1118

### 2. 学会報告ほか

(1) 山梨発 水と緑を考える大学・地域・産業連携国際シンポジウム『Participatory of the residents for the Water Basin Environment ManagementーA case study of the Onga Riverー』水と緑を考える大学・地域・産業連携国際シンポジウム実行委員会、2009年9月12日

(2) マクロエンジニアリングシンポジウム2009『持続可能な開発のための制度とガバナンスーカンボジア第二メコン架橋を事例としてー』日本マクロエンジニアリング学会、2009年9月15日

### 3. その他

(1) 北杜市小水力発電実現可能性検討委員会、2009年11月17日(第一回)、12月8日(第二回)、2010年1月19日(第三回)、2月16日(第四回)

(2) FM 甲府「生涯学習の時間」『地域資源を生かした持続可能なふるさとづくり』2009年12月22日放送

## 箕浦一哉

### 1. 執筆

(1) 単独発表(2009年4月)「米軍基地の騒音問題」鳥越皓之・帯谷博明編『よくわかる

環境社会学』ミネルヴァ書房、p.157

(2) 単独発表(2009年11月)「耳をすませば・音風景：西陣の音風景」毎日新聞大阪版11月11日付夕刊

### 2. 国際学会発表

(1) 単独発表(2009年8月) 'Relationship between community noise annoyance and local contexts: Analysis of free descriptions from a soundscape perspective.' The 38th International Congress and Exhibition on Noise Control Engineering (inter-noise 2009), Ottawa, Canada.

### 3. 国内学会発表

(1) 単独発表(2009年11月)「地場産業騒音とともにある暮らしーある小学校教諭の教育実践記録からー」2009年度日本サウンドスケープ協会研究発表会、静岡市産学交流センター

### 4. その他

(1) ワークショップ講師(2009年3月、6月、11月)「八ヶ岳南麓風景街道ワークショップ」、主催：八ヶ岳南麓風景街道の会、於北杜市

国際コミュニケーション学科

秋山 洋一

1. 論文

- (1) 単著「山梨方言の敬語表現素描ー方言会話資料からー」、國學院大『国語研究』72号（金田弘博士追悼号）、pp.1~8（平成21年3月）

千森 幹子

1. 著書

- (1) 単著（2009年1月）（解説・編集）『不思議の国のアリス～明治・大正・昭和初期邦訳本復刻集成』（エディション・シナプス、2009.1）
- (2) 共著（2009年11月）「明治の『ガリヴァー旅行記』とポストコロニアリズムー巖谷小波の『小人島』『大人國』を中心として」『図説 翻訳文学総合事典 第5巻 日本における翻訳文学（研究編）』、大空社、pp.55-81

2. 学会発表

- (1) 単独発表（2009年8月）"Post-colonial Interpretation of Boyishness in Early Japanese Translations of *Gulliver's Travels*" The 19th Biennial Congress of International Research Society for Children's Literature, Frankfurt am Main, Goethe-University

3. その他

- (1) 単著（2009年5月）「研究の現在」『ヴィクトリア朝文化研究学会ニューズレター』第8号、p.9
- (2) 単著（2009年8月）『ポストコロニアル的観点から考察した日英『ガリヴァー旅行記』図像にみる少年性』平成17~20年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C) 成果報告書

前澤 哲爾

1. 書籍・雑誌・報告書

- (1) 「日本映画の国際ビジネス」（キネマ旬報社1月発行）60p~65p  
「アジアのプロダクションの協力システム及び政策協議」（モデレーター出演採録）
- (2) 「FC NEWS LETTER 27」（全国フィルム・コミッション連絡協議会3月発行）1p~2p  
「平成21年 JAPAN Film Commission へ移行」（単独原稿）

2. 新聞原稿

- (1) 山梨日日新聞「展望台」に原稿連載  
2月1日「ブッシュと『沈黙』」  
3月8日「老舗旅館の再生は簡単なのか？」  
4月12日「大学改革と社会人学生」  
5月17日「もう一つの魅力 釣り天国」  
6月21日「ストライキとデモ、そして組合」  
7月26日「情報発信力を高めよう！」  
8月30日「絶対、選挙に行こう」  
9月27日「不思議の国 ブータン」  
10月25日「プロフェッショナルが語る『観光の本質』」  
12月6日「山梨県人が活躍する『一新塾』」
- (2) 講演記事掲載  
3月5日 北海道新聞  
「ロケ協力で魅力再発見」  
3月7日 北海道新聞  
「地域と制作者対等に」  
6月12日 北日本新聞  
「撮影支援、永いスパンで」  
6月20日 秋田魁新報  
「フィルムコミッションと地域づくり」

3. 地域プロジェクトの実施

- (1) 「やまなし・ディスカバラー・プロジェクト」の企画・実施  
第1回 FW 5月5日~6日山梨市、第2回 FW 9月28日~30日富士河口湖町、鳴沢村、西桂町、都留市
- (2) 「インバウンド観光教育プログラム」（文部科学省「学び直しニーズ」採択事業）



- 第2期プログラム策定及び講師 1月11日、  
1月15日、2月14日「修了式」  
第3期プログラム策定及び講師 6月29日、  
7月13日、7月27日、10月22日、11月  
5日、11月19日、12月3日、12月17日  
「修了式」
- (3) 「観光講座」プロデュース  
平成20年度「成功の秘密・現場の知恵」  
1月10日「白馬から HAKUBA へ」長  
野県白馬村 前村長  
2月10日「映画誘致で街づくり」山形  
県鶴岡市「庄内映画村」社長  
3月10日「旅館再生と地域再生」福島  
県会津若松市「くつろぎ宿」  
社長  
平成21年度「プロフェッショナルが語る  
『観光の本質』」  
11月7日「映画・映像からの視点」映  
画監督 崔洋一氏  
11月14日「音楽・放送からの視点」  
ブロードキャスター ピーター・  
バラカン氏  
11月23日「アートからの視点」アート  
ディレクター 北川フラム氏  
11月28日「出版・情報からの視点」  
出版編集者 藤岡比左志氏
- (4) 「忍野村との連携地域プロジェクト」  
2月3日協定内容の検討を経て、3月10  
日包括連携協定締結。7月7日第1回全体委  
員会、11月1日「環境」委員会。
- (5) 「外国語放送プロジェクト」の企画・実施  
「4ヶ国語番組制作」1月～3月10分番  
組13本、4月～12月30分番組39本制作。  
5月10日「多言語パーティ」、9月9日  
「多言語放送会議」開催。
- (6) 大学コンソーシアムやまなし「都市リテラ  
シー」  
1月14日「甲府駅北口再開発計画」県生  
涯学習センター  
1月24日「原点から振り返る都市の課題」  
甲府商工会議所
4. 理事、委員などの活動
- (1) 全国フィルム・コミッション連絡協議会  
専務理事、事務局長、企画委員長（～09年  
3月）
- (2) NPO「政策学校 一新塾」理事・講師（02  
年10月～）
- (3) 「アジア・フィルムコミッション・ネット  
ワーク (AFCNet)」アドバイザー（04年10  
月～）
- (4) 国際NGO「シャプラニール=市民による  
海外協力の会」評議員（05年4月～）
- (5) 「アースビジョン・地球環境映像祭」審査  
委員長（06年8月～）
- (6) 群馬県「ぐんまフィルムコミッション連絡  
会議」議長（06年8月～09年3月）、顧問  
（09年4月～）
- (7) 台東区「東京ダウンタウン・アートサポー  
ト懇談会」副座長（07年4月～）
- (8) 「したまちコメディ映画祭 in 台東」実行委  
員会委員（08年1月～）
- (9) NPO「先端芸術クリエイティブ・センター」  
理事（08年5月～）
- (10) 山梨県広聴広報課CMコンペ審査委員（09  
年6月～）
- (11) 経済産業省 Japan film Commission 設立  
委員会委員（～09年3月）
- (12) 山梨放送番組審議委員会委員（08年7月  
～09年6月）
- (13) やまなし映画祭実行委員会委員（08年7  
月～）
- (14) 山梨県「宝美アクティブプラン」検討委員  
会委員（09年6月～11年3月）
- (15) 忍野村・山梨県立大学「包括連携協定推進  
委員会」委員長（09年7月～）
5. 講演・パネラーなどの活動
- 1月24日甲府市・甲府商工会議所「県民コミュ  
カレ・都市リテラシー」（大学コンソやま  
なし主催）コーディネーター
- 2月5日福島市・「フィルムコミッションと地  
域づくり」（福島民報主催）講師
- 3月4日北見市・「フィルムコミッションと地

- 域づくり」(北海道新聞主催) 講師
- 3月8日東京・四谷区民ホール「アースビジョン・地球環境映像祭」審査講評
- 3月17日さいたま市・「フィルムコミッションと地域づくり」(埼玉新聞主催) 講師
- 6月11日黒部市・ホテル黒部アクア「フィルムコミッションと地域づくり」(北日本新聞主催) 講師
- 6月17日横手市・松與会館「フィルムコミッションと地域づくり」(秋田魁新報主催) 講師
- 6月18日大館市・秋北ホテル「フィルムコミッションと地域づくり」(秋田魁新報主催) 講師
- 7月9日甲府市・男女共同参画推進センター「持続できる地域事業の作り方」(県社会教育課主催) 講師
- 7月29日東京・一新塾「地域プロデューサー養成ワークショップ～『脱皮』人生で社会を変える」講師
- 9月25日甲府市・サテライト教室「子育てコーディネーター養成講座～企画力とネットワーク力」講師
- 11月8日東京・日本教育会館「一新塾22期活動中間報告」コメンテーター
- 11月12日甲府・県研修所「山梨県FC連絡協議会設立記念講演」
- 11月30日北杜市「エコソムリエ講座」会議アドバイザー
6. メディア出演など
- (1) 3月21日 FM北谷「沖縄国際映画祭」
  - (2) 5月6日 YBS テレビニュース「インバウンド観光」
  - (3) 5月31日 FM甲府「Hello! TAGENGO」
  - (4) 8月30日 FM甲府「Hello! TAGENGO」
  - (5) 11月12日 UTY ニュースの星「山梨県FC連絡協議会発足」
  - (6) 11月29日 FM甲府「Hello! TAGENGO」ピーターバラカン氏とラジオを語る
  - (7) 12月10日 甲府CATV ニュース「観光講座」

7. 褒章など

10月15日 AFCNet より今までの貢献に対して「Plaque of Gratitude」受賞(プサン・ノホテルホテル)

山本武信

1. 著書

単著『アメリカ型市場原理主義の終焉－現代社会と人間のゆくえ』晃洋書房、全290頁、2009年2月

2. 新聞評論

共同通信社『にっぽん診断』全国配信(北海道新聞、岩手日報、河北新報、福島民友、茨城新聞、埼玉新聞、上毛新聞、神奈川新聞、中部経済新聞、大阪日日新聞、高知新聞、徳島新聞、中国新聞、日本海新聞、山口新聞、長崎新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、琉球新報、沖縄タイムズ等々)

- (1) 「金融危機、世界に波及－米国一辺倒の発想転換を」2009年1月
- (2) 「下流大学論の虚実－可能性を掘り起こす教育を」2009年2月
- (3) 「ネットの進化と人間の退化－法規制が語る危機の構図」2009年4月
- (4) 「規模より質の地方紙に期待－新聞が消える日」2009年5月
- (5) 「GM破綻で巨人神話に幕－グローバルズム負の決算」2009年7月
- (6) 「GDP信仰から脱却せよ－経済至上主義の限界」2009年8月
- (7) 「内なる壁の創造的破壊を－新政権に期待する役割」2009年9月
- (8) 「グローバル時代 第2幕へ－ベルリンの壁崩壊20年」2009年10月
- (9) 「独アウトバーンの教訓－無料高速道路の光と影」2009年12月
- (10) 山梨日日新聞『時標』「地球時代に必要な農の視点」2009年6月

3. 報告書

叢書紹介「国際関係とメディアクライシス－地球共生コミュニケーションの座標軸」『阪南

大学産業経済研究所年報』第36号、2009年  
3月、16-17頁

## 吉川豊子

### 1. 新聞記事(取材協力)

共同通信記事タイトル〈歩み来て、未来へ〉  
ニッポン近代考<sup>⑮</sup> 文学と女性  
(以下の地方紙に配信、サブタイトルは各紙の  
もの)

- (1) 2009年4月18日「東奥日報」  
時代、家長長制と格闘/「蒲団」100年の  
誤解覆す/「蒲団」とモデルをめぐる出来事
- (2) 2009年4月18日「福島民報」  
百年の誤解超え再生/「蒲団」とモデルを  
めぐる出来事
- (3) 2009年4月18日「徳島新聞」  
「100年の誤解」解決へ/田山花袋作品「蒲  
団」に“反論”/「闘い」尊く/「蒲団」とモ  
デルをめぐる出来事
- (4) 2009年4月18日「高知新聞」  
書く意志を引き継ぐ/100年経て「蒲団」  
に一矢/「蒲団」とモデルをめぐる出来事
- (5) 2009年4月18日「大分合同新聞」  
物書きの魂を継承/「蒲団」のイメージ覆  
す/「蒲団」とモデルをめぐる出来事
- (6) 2009年4月19日「山陽新聞」  
「書く意志」を引き継ぐ/「蒲団」とモデル  
をめぐる出来事
- (7) 2009年4月20日「山口新聞」  
「書く」意志を引き継ぐ/100年の誤解超  
え再生へ/彼女たちの尊い「生」/「蒲団」と  
モデルをめぐる出来事
- (8) 2009年4月20日「日本海新聞」  
「書く」意志を引き継ぐ/100年の誤解超  
え再生へ/彼女たちの尊い「生」/「蒲団」と  
モデルをめぐる出来事
- (9) 2009年4月21日「山形新聞」  
「書く意志」を引き継ぐ/現代にもつながる  
「葛藤」/「蒲団」とモデルをめぐる出来事
- (10) 2009年4月21日「福井新聞」  
女性の「書く意志」継承/田山花袋「蒲団」

に挑む/尊い「生」/「蒲団」とモデルをめぐ  
る出来事

- (11) 2009年4月21日「北日本新聞」(夕刊)  
書く意志を引き継ぐ/100年の誤解超え再  
生へ/彼女たちの尊い「生」/「蒲団」とモデ  
ルをめぐる出来事
  - (12) 2009年4月22日「山梨日日新聞」  
100年の誤解超え再生へ/「書く」意志を  
引き継ぐ/「蒲団」に挑み、覆す
  - (13) 2009年4月22日「岐阜新聞」  
書く意志を引き継ぐ/100年の誤解超え再  
生へ/彼女たちの尊い「生」/「蒲団」とモデ  
ルをめぐる出来事
  - (14) 2009年4月27日「新潟新聞」  
書く意志引き継がれ/「蒲団」芳子のモデ  
ル/葛藤現代にも/「蒲団」とモデルをめぐる  
出来事
  - (15) 2009年4月27日「熊本日日新聞」  
誤解超え書く意志引き継ぐ/ペンを持って/  
「蒲団」とモデルをめぐる出来事
  - (16) 2009年5月2日「宮崎日日新聞」  
「書く」意志を引き継ぐ/時代や制度にあら  
がう/「蒲団」とモデルをめぐる出来事
  - (17) 2009年5月2日「信濃毎日新聞」  
「蒲団」モデルの苦悩/女性文学翻弄された  
情熱/「蒲団」とモデルをめぐる出来事
  - (18) 2009年5月3日「神戸新聞」  
「書く」、意志を今に継ぐ/花袋の「蒲団」  
に反論、一矢/「蒲団」とモデルをめぐる出  
来事
  - (19) 2009年5月4日「京都新聞」  
「書く」意志を引き継ぐ/100年の誤解超  
え再生へ/彼女たちの尊い「生」/「蒲団」と  
モデルをめぐる出来事
  - (20) 2009年5月5日「中部経済新聞」  
“書く”意志引き継ぐ/花袋の『蒲団』に  
挑む/100年の誤解超え再生へ/彼女たちの  
尊い「生」/「蒲団」とモデルをめぐる出来事
- ### 2. 報告書
- ① 「やまなし地域女性史研究の今年度の活動  
について」



(山梨県立大学地域研究交流センター 2008 年度研究報告書『やまなし地域女性史研究プロジェクト』所収、2009 年 3 月)

やまなし地域女性史研究プロジェクトリーダー (2005 年 4 月～2009 年 3 月)

- ② 「やまなし青少年育成指針 (仮称) を策定するに当たっての基本的考え方と施策の方向について」(答申) (2009 年 12 月)

山梨県青少年問題協議会委員 (2004 年 7 月～2010 年 6 月)

### 安藤 淑子

#### 1. 論文

- (1) 単著「日本語非母語話者の子ども用文字表記教材に見られる語彙選択の課題」(2009 年 3 月)『山梨国際研究 山梨県立大学国際政策学部紀要』第 4 号、山梨県立大学国際政策学部、pp.39-46

#### 2. 報告書等

- (1) 共著『甲府市外国籍住民実態調査』甲府市  
 (2) 共著『甲府市多文化共生推進計画』甲府市  
 (3) 共著『多文化共生 ～遠隔日本語教育・外国人住民実態調査・多言語放送』山梨県立大学地域研究交流センター

#### 3. 講演、その他

- (1) 「多文化共生」社会とはなにか (2009 年 3 月 19 日) 甲府市青年会議所ワークショップ (甲府青年会議所)  
 (2) 「帰国・外国人児童生徒教育のあり方について ～日本語教育の視点から～」(2009 年 5 月 12 日) 山梨県帰国外国人児童指導者研修会 (山梨県)  
 (3) 「第 1 回 ハート 51 日本語作文コンテスト」(2009 年 7 月 26 日) 多文化共生を考える会ハート 51・ソロプチミスト協会・山梨県国際交流協会共催 (審査委員長)  
 (4) 「外国人児童をいかに多文化共生の空間づくりとコミュニケーション」県民コミュニティカレッジ (2009 年 10 月 10 日) 山梨県立大学 (コーディネーター)  
 (5) 「日本語ボランティア研修会」(2009 年 12

月 5 日) 南アルプス市国際交流協会

### 伊藤 ゆかり

#### 1. 論文

- (1) 単著 (2009 年 3 月) 「アメリカを車で行く：ヴォーゲル劇における自動車と身体性」山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第 4 号、pp.47-56

#### 2. 口頭発表

- (1) 単独 (2009 年 10 月) 「娘として母として：ケネディ劇における家族」日本アメリカ文学会第 48 回全国大会、秋田大学

### 高野 美千代

#### 1. 論文 (単著)

- (1) (2009 年 3 月) 「書籍商チズウェルによる 1680 年～1700 年のブックリスト研究」山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第 4 号、57-68 頁。

#### 2. その他 (国際研究集会企画運営)

- (1) 科研費による「17 世紀の歴史と書物に関する国際研究集会」企画運営  
 日時：平成 21 年 2 月 19 日  
 場所：山梨県甲府市 談露館  
 講師：グレアム・パリー教授 (英国ヨーク大学)  
 題目：William Camden と Britannia

### 張 兵

#### 1. 学会抄録

- (1) 単著「中国における「総合改革試験区」設立の動きと意義」、中国現代史研究会『現代中国研究』第 24 号、2009 年 3 月 31 日

### 戸田 徹子

#### 1. 論文

- (1) 単著 (2009 年 3 月) 「フィラデルフィア年会ミッション・ボード資料紹介(1)」山梨県立大学国際政策学部紀要、第 4 号、pp.97-108

## 名和敏光

### 1. 學會発表

- (1) 「馬王堆喪服圖與日本江戸時代日用類書中の喪服圖」2009年3月19日(木)、於復旦大學出土文獻與古文字研究中心、平成21年度科學研究費補助金による成果。
- (2) 「『大戴禮記』版本と『大戴禮記』研究書について」2009年7月25日(土)、於東京大学、第13回「出土資料と漢字文化研究会」定例研究会・第42回上海博楚簡研究会、平成21年度科學研究費補助金による成果。
- (3) 「新出土資料簡介」2009年10月31日(土)、大東文化大学板橋校舎、第14回「出土資料と漢字文化研究会」定例研究会・第43回上海博楚簡研究会、平成21年度科學研究費補助金による成果。

### 2. シンポジウム・総合司会

- (1) 科研シンポジウム「戰國秦漢出土文字資料と地域性－漢字文化圏の時空と構造－」2009年9月19日(土)、於日本女子大學、平成21年度科學研究費補助金による成果。

### 3. 海外調査（平成21年度科學研究費補助金による出張）

- (1) 上海・杭州調査旅行 中華人民共和國上海市・杭州市 2009年3月16日～25日。
- (2) 北京調査旅行 中華人民共和國北京市 2009年8月29日～9月12日。

### 4. 學會役員・その他

- (1) 中國出土資料學會理事、2008年4月1日～現在。
- (2) 大東文化大學人文科學研究所兼任研究員、2005年4月1日～現在。
- (3) 東京大學東洋文化研究所研究班「中国古代文献の成立に関する多角的研究」研究員、2009年4月1日～現在。

## 二戸麻砂彦

### 1. 學術論文

- (1) 単著「二卷本世俗字類抄の音注『如音』」(山梨県立大学国際政策学部紀要第4号、pp.01-18、2009年03月)

## 平野和彦

### 1. 論文

- (1) 単著「日中近代における伝統芸術解釈の二面性(上)——『画』と『美術』の認識をめぐって」『山梨国際研究』(山梨県立大学国際政策学部紀要第4号) pp.19-32、2009.3.31
- (2) 単著「中村不折與前田黙鳳—關於日本近代書道走向現代之社會背景反思—」華梵大学美術系『書法與当代社会国際學術研討會論文匯編』 pp.101-130、2009.5.30・華梵大学

### 2. 国際学会発表

- (1) 単独「中村不折與前田黙鳳—關於日本近代書道走向現代之社會背景反思—」華梵大学美術系・中正紀念堂管理处・中華書道学会共催「書法與当代社会国際學術研討會」・於台北市中正紀念堂演講厅(2009.5.30)、司会・国立台北芸術大学林章湖教授、特約討論人・国立台湾芸術大学書画芸術学系林進忠教授
- (2) パネルディスカッション「—書法與当代社会—」パネラー(他のパネラー:中国美術学院毛建波教授、中国美術学院白砥教授、国立台北芸術大学林章湖教授、華梵大学熊宜中教授)・於台北市中正紀念堂演講厅(2009.5.31)

### 3. その他

- (1) 「中村不折與前田黙鳳—關於日本近代書道走向現代之社會背景反思—(上)」(論文2加筆稿)『中華書道』第65期・2009年秋季号 pp.35-52・2009.8.15・中華書道学会
- (2) 「中村不折與前田黙鳳—關於日本近代書道走向現代之社會背景反思—(中)」(論文2加筆稿)『中華書道』第66期・2009年冬季号 pp.19-38・2009.11.15・中華書道学会

### 4. エキシビション

- (1) 第3回 平野和彦個展・於きゃらりーロア・2009.10.23-10.28

## 八代 一 浩

### 1. 研究会報告

「山梨の地域情報基盤とその活用について」、  
八代一浩：

日本学術振興会産学協力研究委員会インター  
ネット技術第 163 委員会、ITRC/RIBB 特  
別シンポジウム「インターネットと地域情報  
化」、2009 年 2 月 16 日

### 2. 全国大会発表

「眼科遠隔診療システムの新機種開発におけ  
る医師用インターフェースの実装」、東谷竜也、  
郷健太郎、柏木賢治、八代一浩:

第 14 回東京支部学生会研究発表会講演論文  
集、p.170、電子情報通信学会東京支部学生  
会、東京電機大学、2009 年 3 月 7 日

## 吉 田 均

### 1. 著作 (計 5 件)

#### (1) 論文など

- 1) 外国語メニュープロジェクト調査グルー  
プ (研究代表吉田均)、2009、「国際観光  
客誘致のための外国語メニューの開発に関  
するビジネスモデルの研究」、『山梨県立大  
学地域研究交流センター 2008 年度研究報  
告書』、山梨県立大学地域研究交流センター
- 2) 吉田均・長田まどか、2009、「北杜市で  
の国際交流に関する意識調査とその提言結  
果について」、『山梨国際研究』4 号 (2009  
年)、山梨県立大学

#### (2) 学会抄録、エッセイほか

- 1) 外国語メニュープロジェクト調査グルー  
プ、2009、「国際観光客誘致のための外国  
語メニューの開発に関するビジネスモデル  
の研究」、『2008 年度山梨県立大学地域研  
究交流センター年報』、山梨県立大学地域  
研究交流センター
- 2) 山梨県立大学地域研究交流センター、  
2009 年、「インバウンドによる地域振興」、  
『山梨県立大学地域研究交流センターニュー  
ズレター』、2009 年 2 月 19 日 (第 8 号)。
- 3) 吉田均、2009 年、「テーマ 1 外国語メ

ニュープロジェクトーインバウンド観光か  
ら見えてくる世界ー」、『山梨総合研究所  
News Letter』(Vol.131 2009 年 6 月 1  
日)、山梨総合研究所

### 2. 発表・講演 (計 7 件)

#### (1) 講演会など

- 1) 吉田均 (2009 年 3 月 13 日)「やまなし  
インバウンド人材育成プログラム」、『第 4  
回観光関係人材育成のための産官学連携検  
討会議、観光地作りにおける大学の役割に  
関する分科会』、観光庁
- 2) 吉田均、功刀晴彦 (2009 年 4 月 17 日)  
「甲府市観光振興基本計画ーその概要と課  
題ー」、『甲府商工会議所観光運輸部会議員・  
評議員合同懇談会』、甲府商工会議所
- 3) 吉田均、(2009 年 7 月 13 日)「インバ  
ウンド観光客の受け入れ体制の整備ー国際  
観光への UD の応用ー」『インバウンド観  
光教育プログラム』、やまなしインバウン  
ド観光振興コンソーシアム、特定非営利活  
動法人大学コンソーシアムやまなし
- 4) 吉田均、(2009 年 7 月 27 日)「ウエル  
カムイン予約センター」『インバウンド観  
光教育プログラム』、やまなしインバウン  
ド観光振興コンソーシアム、特定非営利活  
動法人大学コンソーシアムやまなし
- 5) 吉田均、(2009 年 9 月 24 日)「なぜ地  
方自治体は、国際協力をするのかーその国  
内への影響と将来展望ー」『JICA 地球ひ  
ろば地域国際協力サポーターセミナー』、  
JICA 地球ひろば地域連携課
- 6) 吉田均・古谷健一郎、(2009 年 10 月 25  
日)「四川省温泉開発による観光産業振興  
及び被災地復興事業」『JICA 草の根技術  
協力報告会』、JICA・山梨県観光部・山梨  
県立大学
- 7) 吉田均、(2009 年 11 月 19 日)「ランド  
オペレーターを通じた観光客誘致の方法」  
『やまなしインバウンド観光教育プログラ  
ム』、大学コンソーシアムやまなし

3. 社会貢献 (計7件)

(1) 公設委員会など

- 1) 「富士北麓国際交流ゾーン構想策定委員会」委員

主催：山梨県

期間：平成21年4月30日～平成22年3月31日

- 2) 「観光振興計画推進会議」委員 (副会長)

主催：甲府市

期間：平成21年7月17日～平成23年7月16日

- 3) 「笛吹市観光振興ビジョン策定委員会」委員 (会長)

主催：笛吹市

期間：平成21年11月16日～平成22年3月31日

- 4) 「山梨音声翻訳実証実験協議会」委員 (会長)

主催：やまなし観光推進機構

期間：平成21年11月25日～平成22年3月31日

(2) 民間団体委員会、アドバイザーほか

- 1) 国際協力機構 (JICA) 山梨県地域国際協力サポーター

委嘱団体：独立行政法人国際協力機構広尾センター

期間：平成20年4月1日～平成21年3月31日

- 2) 「社会人学び直しニーズ対応教育推進事業 インバウンド観光教育プログラム検討委員会 (文部科学省委託事業)」委員

委嘱団体：大学コンソーシアムやまなし

期間：平成19年9月13日～平成22年3月31日

- 3) 「中小企業団体観光物産協議会」委員

主催：山梨県中小企業団体中央会

期間：平成21年9月16日～平成22年3月31日